



発行：JAPANESE CHILDREN'S SOCIETY 8 WEST BAYVIEW AVENUE, ENGLEWOOD CLIFFS, NJ 07632 HP: www.JapaneseSchool.org ☎(201)947-4832

ポートワシントン校

PW

育英サタデーPW校

「変わらないですね、懐かしいです。」

9月、秋の大運動会。ボランティアとして手伝いに来てくれた卒業生の眩き。昔と変わらない校舎。ポートワシントン校(PW校)開設当時のメンバーも残る、経験豊富な教師陣。

1999年の開設以来、17年目を迎え、幼児部年中から高等部2年生までの在籍者は、ニューヨーク育英学園の全部門の中で最大規模を誇ります。

「かつてのメンバーが訪ねてくれることが嬉しい。いつでも会いに来て下さい。校舎は365日オープンですから。」と岡本学園長はニュージャージー校舎(NJ校)の説明をします。NJ校から車で約1時間、PW校も「アットホームで温かい雰囲気の中、卒業生や退園者の母校になる」という育英学園の良き伝統が確かに受け継がれています。

私たちが待っている仕事がある。そのため 一つ！

これが、2016年度のPW校職員のスローガンです。子どもが幸せになるために、私たち教師の出番があります。

教育における「やる気」の育成を考える

学ぶ側にやる気がなかったら、どんなに教え導いてもどんなに有効適切な場を設定しても、空を撃つように無意味です。したがって、教育の第一歩は学習者に対して、目の前の課題についてどう「やる気」を持たす(引き出す)か、そして長い期間にわたっての学びが持続するよう「やる気」をどう維持・向上させるか、ということに尽きます。従来から「やる気」の主要な心理的基盤として、「面白いから」「やりがいがあるから」「大事だから」「やるべきだから」という4種類の気持ちの在り方が取り上げられてきました。さて、最終的には「やるべきだから」という実直な姿勢が身に付いていくことが望まれます。



学習課題は、その全てが必ず「面白い」わけでも、「やりがいがある」ものでも「大事さがわかる」ものでもありません。しかし、やるべきことはやらなくてはなりません。このためには、自分の中に潜む弱さを抑え、自分に鞭打って努力するといった「刻苦勉励」の姿勢が育っていく必要があります。何の道であろうと、そうした姿勢を堅持した人しか大成しません。「やる気」に溢れた人間として育つために、困難なことにも積極的に立ち向かっていく姿勢を育てていくことを大切にしています。

充実のアフタースクールプログラム

児童や生徒の可能性をより広げるために希望者を対象に、アフタースクールプログラムを実施しています。

- 書道(毛筆) ○硬筆 ○音楽部
- 中学部アドバンス ○ダブルダッチ
- 総合体育教室

PW校児童の活躍

旺文社主催

内閣府・文部科学省・環境省後援

第60回全国学芸サイエンスコンクール
環境大臣賞 ポスター・デザイン部門



中原 唯華さん(5年)
作品「自然を守ったら・・・」

「北米伊藤園新俳句グランプリ2016」

銅賞 いわし雲 つづいてるかな 日本まで
伊藤よつ葉さん(3年)

PW アフタースクール



平日アフターポートワシントン校

では、充実したクラスを用意しています。授業は、午後から夕方にかけての時間帯なので、現地校が終わってからでも十分に通えます。日曜日は英検講座もあります。

特別国語教室

教科書を中心に、漢字と作文に重点を置いた授業を行います。少人数制なので、一人ひとりの特性を伸ばし、分からないところは納得がいくまで指導します。

土曜日国語クラス

学年にとらわれず、一人ひとりが無理なく学習を進められる少人数制の国語クラスです。音読、文法、文章の読み取り、文字(平仮名、カタカナ、漢字)の学習をします。

アフター作文教室

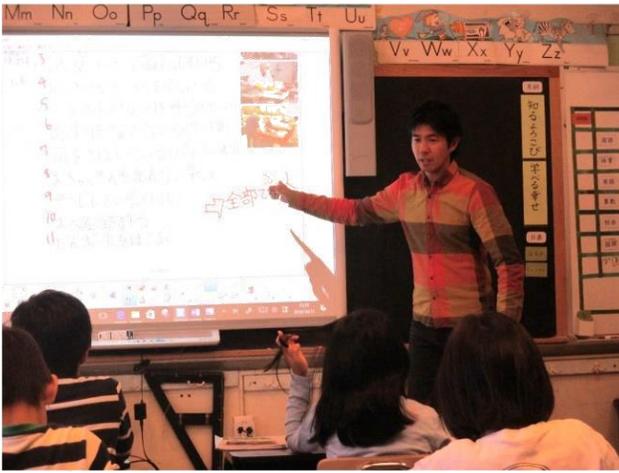
作文の書き方を基礎から教えます。様々な文章形態を学習し、作文を楽しく書くことができるように指導します。受講した生徒の作文は、マスメディアに毎回応募して、新聞などに掲載されています。

漢字教室

1月から開講した漢字教室です。漢字が得意な子はもちろんのこと、苦手な子も、漢字を覚えるコツや、楽しく漢字を学ぶことができるように、指導します。

英検対策講座

授業では、過去の問題を多く解きながら、各問題を解くコツ、勉強の仕方、弱点の克服など、それぞれの受験級に合わせて、分かりやすく丁寧に指導します。



全日制小学部3年生社会科「わたしたちのくらしと店のしごと」

教科指導 における ICTの 効果的な 活用

2016年度 全日制小学部研究テーマ

ICT（情報通信機器）を活用した授業

「教育の情報化ビジョン」（文部科学省2011年4月）には①情報活用能力②教科指導における情報通信技術（ICT）の活用③校務の情報化の3つの側面を通して教育の質の向上を目指すとともにあります。

本学園でも教員のICT活用指導力の向上に関する取り組みを段階的に進めています。

初期の段階としては、比較的指導にやり取りしやすい電子黒板・プロジェクターを一斉授業において効果的に活用したり、実物投影機を用いて児童がグループ学習で作成した資料を表示して、発表し合ったりする授業を提案してきました。

また、2016年度2学期より小学部全教室に電子黒板が設置されました。加えてデジタル教科書も導入し、教科指導におけるICTの効果的な活用に向けて日々教材研究に取り組んでいます。

さらに、9月からタブレット端末の導入も始まりました。

タブレット端末は学習に有効だと言われています。しかし、適切な学習環境デザインが行われなければ、その効果が発揮されることはありません。

本校では、タブレット端末でデジタル教科書を開くことができます。

3年生社会科の学習で、デジタル教科書の社会科ツール「都道府県」を使って調べ学習に取り組みました。画面上の日本地図をタッチすると各県の特産品や県名、県庁所在地などがフリガナ付きで表示されます。ペア学習の形態で取り組みました。ただ調べるだけではなく、調べたことを友達と教え合い、広げていくことも大切にしているからです。6年生算数教科「角柱と円柱の体積」の学習では、まず、個々でプリントに体積の求め方を考えました。その考えを元に、グループ活動の中でデジタル教科書の作図機能を使って図に線を書き入れたり、動かしたり、回転させたりといった操作を友達と試行錯誤しながら解を求めました。

「いろいろ使える」という状況は、かえって使えなくなる場合があります。一人ひとりの学びが保証される協働学習の展開を練り、自分の学びを発信したり、共有したり、深化させたりといった「伝え合う活動」を実現し、子どもたちの学びをより豊かなものにするために、今後も、ICTを効果的に活用していきたいと考えています。



調べ学習

小学部4年生の社会科でタブレット端末を使用して、調べ学習をしている様子。



幼児部での活用

音楽を聞いたり、映像を見たり、お絵かきをしたりといった、自由遊びや保育の内容に合わせて、効果的な活用を図っています。

English Skill-up Workshop



Word Train Challenge

English Skill-up Workshop 金曜日英語の日 特別プログラム

NY育英学園全日制小学部英語科では、独自の英語教育メソッドであるクロスメソッドに基づいたプログラムを展開しています。その目玉でもある金曜日英語の日のプログラムでは、年度末に恒例のスペシャルフライデーとして、English Skill-up Workshopを開催しています。これは英語科教師がそれぞれ自分の得意分野のスキルアップ教室を開き、各クラスの子どもたちが英語科教師のワークショップを順に回ってそれぞれ違うレッスンを受けるという形式のものであります。

Mr. L's Pronunciation Clinic, Mr. P's Super Debate, Ms. L's Word Art Workshop など、楽しい名前を付けて発音のゲームやディベート、ワードアートにチャレンジしたり、ボクササイズをしながら英語のリズムを練習をしたり、英語の歌のカラオケをしたりと、子どもたちはいつもとは違う先生と触れ合っており、いろんな活動ができるこの日を毎年楽しみにしているようです。

また教師たちにとっても、普段は教えない違うレベルの子どもたち一人ひとりに向き合って指導できるチャンスとなり、このWorkshopをきっかけに廊下で会った時など、会話をする機会が増えているようです。

さらに、次年度に向けてクラスを編成し直す時にも、各英語科教師が子どもたち全員を知っていることが、よりスムーズな移行につなげることに役立っています。

NY育英学園のバイリンガル教育



Ms. K's Karaoke Party



Mr. D's Syllable

NY育英クロスメソッドの活用例

現地校へのソフトランディング

英語を勉強したことがない子どもたちが、日本からアメリカに来ていきなり現地校に入ると、数カ月から数年、先生や友だちの言っていることが分からないという時期を過ごすこととなります。そんな子どもたちに、NY育英学園全日制のクロスメソッドによるバイリンガル教育を提供することで、子どもたちが負担なく英語に慣れていくことを応援しています。最初は現地校には行きたくなかった子どもたちも、数年学習するうちに英語に自信を付け、現地校にチャレンジしています。

日本へのソフトランディング

逆に、現地校生活が長かった子どもたちにとっては、急に日本に帰ることになった場合、すぐに日本の学校に慣れることができるのが心配です。そんな子どもたちもNY育英学園全日制のクロスメソッドによるバイリンガル教育を受けることで、英語力を維持・向上させつつ、日本語での学習能力をも向上させることができます。また、日本の行事に基づいた活動をしながら日本式の学校生活に慣れることができ、日本に帰ってもスムーズに学校生活に溶け込んでいくことができます。

日本・現地校 双方向へのソフトランディングを実現!

日本

サタデー・サンデー
アフター・スクール
いろいろにほんこ教室

**NY育英クロスメソッド
バイリンガル教育**

**アメリカ
現地校**

現地校入塾準備
りんごサタデー
英語補習教室

<NJキャンパス全日制小学部>

文科省準拠全教育課程を履修 週10コマ
日本語+英語

日本帰国前に日本語の学校生活に親しむと同時に日本語での学習能力の向上・進歩を図る。

現地校に直接入る前に、NY育英学園・りんごサタデー・アフター・スクールで英語力の向上・進歩を図る。

サマー2017

第35回育英サマーニュージャージーのサマープログラム

- 《デイキャンプ》 《レイクグリーンリー宿泊キャンプ》
- 《サマー野球教室》 《サマーいろはにほんご教室》

サマー幼児部デイキャンプ
サマー小学部デイキャンプ
サマー野球教室
サマーいろはにほんご教室

対象:
幼児: 2011年4月2日~2014年4月1日生まれ
小学生: 2005年4月2日~2011年4月1日生まれ
期間:
①前期(3週間・全日) 6/26(月)-7/14(金)
②後期(2週間・全日) 7/17(月)-7/28(金)
*スクールバス利用可(料金別)
*前期後期両方の参加、弟妹の参加には割引制度あり。
申込開始: 2017年2月5日(日)より

サマー宿泊キャンプ
(レイクグリーンリーキャンプ)

対象: 小学1年生~中学3年生
2001年10月1日~2011年4月1日生まれ
期間:
15日間 6/25(日)-7/9(日)
*前期後期両方の参加、弟妹の参加には割引制度あり。
申込開始: 2017年2月5日(日)より



お問い合わせ先

場所: 8 West Bayview Ave., Englewood Cliffs, NJ 07632
電話: (201)947-4832
E-mail: SummerCamp.nykuei@gmail.com

サマー幼児部小学部デイキャンプ

幼児部では、普段の日本語での幼稚園の環境に加え、夏ならではの水遊びや泥んこ遊びなど、お友達と遊びながら学ぶことができる活動をたくさん取り入れています。

【主な活動例】

水遊び、クッキング、造形遊び、どろんこ遊び、フィールドトリップ、緑日、水泳(年長のみ)、日本の文化体験



小学部では、縦割りクラスを組むことで、異年齢集団の中で思いやりの心や自立心、チームワークを育みます。毎日行う水泳、実験や言葉の学習、そして宿泊キャンプもあり、知育・体育満載です。

【主な活動例】

1泊宿泊キャンプ、緑日、育英オリンピック、理科実験、音楽、工作、フィールドトリップ、水泳教室



サマー野球教室

投げる、打つ、捕る、走るといった基本動作から、実戦練習、試合などを行う野球教室です。午後4時から5時半までの1時間半のびのびと野球ができます。



サマーいろはにほんご教室

夏の間日本語力を伸ばしたい、漢字を学習してみたいなどそれぞれのニーズと日本語の能力に合わせて学ぶことができます。



時間: 午後4時~午後5時半
①国語クラス (Kokugo) 国語としての日本語学習
②日本語クラス (Japanese) 日本語の読み書きを学ぶ
③Nihongo(JSJ/JFL)第2外国語として日本語を学習

サマー宿泊キャンプ

世界各国から子ども達が集まるレイクグリーンリーキャンプで、男女それぞれのキャンピングに教員とともに2週間一緒に寝泊まりをし、様々なアクティビティやすいか割りや餅屋炊飯などを大自然とともに満喫できるキャンプです。



育英サマー説明会のご案内

期日: 2017年2月5日(日)
場所: NY育英学園 NJキャンパス
時間: 午前9時~午前11時45分
*参加部門ごとに説明会時間が設けられています。
その他: マンハッタンから無料シャトルバスも運行あり。(要予約)

サマー2017

フレンズアカデミーサマースクール2017

新しい園舎となって2回目を迎える、フレンズアカデミーサマースクール。2016年度の参加者は延べ100名以上にも上り、園舎中に子どもたちの元気な声が響き渡りました。2017年度も週に1度のフィールドトリップ、水泳教室(年長・小学生以上)クッキング、制作活動、夏祭りなど魅力的なプログラムを多数用意してお待ちしています。どうぞ奮ってご参加ください。スタッフ一同よりお待ちしております。



サマースクール概要

対象: 親子クラス: 2.5歳~未就園児
幼児部: 3~6歳
小学部: 7歳~12歳(小学生)
*上記のいずれも参加時点の年齢となります。
*年少・年中クラスは昼の休憩時間があります。

期間: 6/26(月)-9/1(金)
時間: 親子クラス: 10:00~11:30
幼児部: 9:30~15:30
小学部: 9:30~16:00



お問い合わせ: フレンズアカデミーディレクター/河野 茂

サマースクールの4つの魅力

- ★ たくさんの体験や経験をする中で、子どもたちはひとまわり遅くなりません。
- ★ 日本語のシャワーを浴びて、日本語での会話を楽しむようになります。
- ★ 縦割りのクラス編成により、異年齢の子どもたちとたくさん触れ合えます。
- ★ 専門の水泳指導を受けることで、泳力が飛躍的に伸びます。(年長・小学生以上)



お問い合わせ先

場所: 310 West 103rd St. New York, NY 10025
電話: (212)935-8535
E-mail: Friends.nykuei@gmail.com

りんごラーニングセンターのサマープログラム

語学部門 英語サマーデイキャンプ

対象: 小学生 *3rd Sessionは中学生も可
期間:
① 1st Session (3週間・全日) 6/26(月)-7/14(金)
② 2nd Session (2週間・全日) 7/17(月)-7/28(金)
③ 3rd Session (1週間・半日) 7/31(月)-8/11(金)
④ 4th Session (1~3週間・2日間) 8/14(月)-9/1(金)
*スクールバス利用可(料金別) 2nd Sessionのみ
*2セッション以上の参加、弟妹の参加、育英サマーキャンプ参加者には割引制度あり。
申込開始: 2017年2月6日(月)より



今年で7年目を迎えるりんごラーニングセンターの英語サマーデイキャンプ。このキャンプでは、毎日様々なアクティビティを英語で行いながら、子どもたちが英語を身近に、そして楽しく学習できるよう工夫されています。秋から現地校に入る日本からアメリカに来て間もない子どもたちが英語に慣れるためのウォーミングアップキャンプとして、また毎日英語のシャワーを浴びて自分の英語力を伸ばしたい子どもたちにとって、最適なキャンプです。



お問い合わせ: りんごラーニングセンターマネージャー/半場 綾子

きりんのへやこども園のサマースクール

対象: 2歳半~年長児 (30名程度)
期間: 6/26(月)-8/4(金) (土日・7/4休み)
時間: 1日保育: 午前9:00~午後4:00
半日保育: 午前9:00~午後1:00
★早朝保育(午前8時から)、延長保育(午後5時半まで)あり
★フルタイム割引(4週間以上選択される方)あり
★スクールバス・給食サービス利用可

きりんのへやこども園のサマープログラムは、一日単位で選択できる組み合わせ自由なサマースクールです。主な活動としては、りんごラーニングセンターのアウトドアプレイエリアでの水遊び、泥遊び、造形遊び、体操クラス、クッキングなどを日本語で行います。フィールドトリップにも行きます。子どもたちが、日本語の環境で夏の楽しい思い出が作れるよう、お手伝いします。



お問い合わせ先

場所: 2460 Lemoine Ave., #103, #104, #105, Fort Lee, NJ 07024
電話: (201)947-4707
E-mail: Ringo.nykuei@gmail.com



JAPANESE CHILDREN'S SOCIETY のご案内

New Jersey キャンパス (イングルウッド・クリフス)

8 West Bayview Avenue, Englewood Cliffs, NJ 07632
Phone: (201)947-4832 Fax: (201)944-3680
E-mail: Info.nyukuei@gmail.com

全日制デイスクール 幼児部/小学部

幼小一貫全日制教育
日本の文部科学省のカリキュラム準拠+ESL+現地校英語

(幼児部 2017年度より) NY 育英プリ・クロスメソッド
毎日の英語の時間+金曜日のイングリッシュの時間 (年長・年中)
英語でのアートの時間
(小学部) NY 育英クロスメソッド
毎日1時間の英語+金曜日1日英語+週10コマの英語
1週間の1/3が英語学習
充実の7段階の習熟度別の英語クラス編成
ネイティブレベルは現地校のランゲージアーツの教科書を使用

- 幼児部 年少組、年中組、年長組、ゆり組 (ウェディング特設クラス)
- 小学部 小学1年~小学6年
- 様々な放課後クラブ活動 (幼・小) サッカークラブ、水泳クラブ、ダブルダッチクラブ、ダンスクラブ、体操クラブ (幼児部のみ) ボール遊び (小学部のみ) 野球クラブ、ボードゲームクラブ

アフタースクール

幼児の教室 (つばめクラス)
小学生の国語・算数教室
E.S.L. (年少~小学6年)
ピアノ教室
空手教室
書道教室
幼児おんがく教室 (年少~年長)
いろはにほんご教室
E-mail: IROHA.nyukuei@gmail.com

育英サタデースクールニュージャージー校

幼児部 (年中、年長)
小学部 (小学1年~小学6年)
・ 野球部、サッカー部、卓球部、室内球技部、アート部、ダンス部、書道部
中学部 (中学1年~中学3年)
・ 中学部活動、書道部
高校部 (高校1年生~高校2年生)

育英サマーキャンプ

サマーキャンプ (宿泊)
サマーデイキャンプ
サマー野球教室
サマーいろはにほんご教室



育英サンデースクール

幼児部 (年中、年長)
小学部 (小学1年~小学6年)
E-mail: SunNJ.nyukuei@gmail.com

日曜プログラム

日曜ピアノ教室
日曜バイオリン教室
日曜野球教室 (春・秋)
いろはにほんご教室
日曜ダブルダッチ
日曜寺子屋アカデミー (書道、そろばん、理科実験、朝読書アーツ)
E-mail: terakoya.nyukuei@gmail.com

育英スキーキャンプ

日帰りスキー教室 (12月~2月)
宿泊スキーキャンプ (12月、2月)

フレンズアカデミー (アッパーウエスト)

310 W.101st Street, New York, NY 10025
Phone: (212)935-8535 Fax: (212)813-0122

全日制プリスクール (NY州認可) たんぽぽ幼稚園

■ 幼児部 年少組、年中組、年長組
週日クラス (月曜日~金曜日)
E-mail: Friends.nyukuei@gmail.com

アフタークラス

- いろはにほんご教室 日本語基礎教室 (3歳以上の未就学児~5歳)、国語教室 (小学1~6年生)、Japanese Lesson for Adults
- 国語算数教室 (小学1~3年生)
- 中学生数学 (中学1~3年生)
- SAT・大学準備コース: 高校生対象 SAT・ACT指導、SSAT・ISEE指導、大学受験指導
- 書道教室 (年中から)
- 音楽教室 (3歳~大人)
- リトミッククラブ (3歳以上の未就学児~5歳)
- うんどうクラブ (3歳以上の未就学児~5歳)

ウィークエンドスクール (土・日)

- 幼児クラス (3歳以上の未就学児) 幼児I、幼児II、幼児I・II合同
- いろはにほんご教室国語教室 (小学1~6年生) 国語I、国語II
- 国語算数教室 (小学1~3年生) ※2017年度より小4開講 (6年生まで年次開講)
- ピアノ教室 (3歳から大人)

その他のイベント

- 季節プログラム 春→フレンズアカデミープリングスクール 夏→幼児サマースクール 小学生サマースクール 親子のサマースクール 夏の終わりのサマースクール 冬→フレンズアカデミーウィンタースクール
- 日よびは日本語であそぼう (2歳半~5歳)
- 映画鑑賞会
- 各種保育・教育講演
- 職員やプロのアーティストによる各種コンサート

Manhattan キャンパス (マンハッタン)

育英サタデースクールマンハッタン校

幼児部 (年中、年長)
小学部 (小学1年~小学6年)
・ 合唱部、リズムダンス部、書写部、自習室
中学部 (中学1年~中学3年)
・ 書写部、アドバンスクラス



Location1: Friends Seminary
Location2: Grace Church School
Phone: (201)947-4832
※土曜日のみ (201)637-3927
Fax: (201)944-3680
E-mail: satM.nyukuei@gmail.com

週日・週末ともにマンハッタン内で様々な日本語のプログラムが用意されています。

育英ポートワシントン校 (ロングアイランド)

育英サタデースクールポートワシントン校

幼児部 (年中、年長)
小学部 (小学1年~小学6年)
・ 書道教室、ダブルダッチクラブ、総合体育教室、音楽部
中学部 (中学1年~中学3年)
・ アドバンスクラス国語、数学、書道教室、音楽部
ダブルダッチクラブ
高等部 (高校1年~高校2年)
・ 書道教室、ダブルダッチクラブ、音楽部



Kuen Saturday School of Port Washington
Location: Carrie Palmer Weber Middle School
Port Washington Office (After School)
8 Maple Street #6,
Port Washington, NY 11050
Phone: (516)787-3139
土曜日のみ (516)455-8871
(201)842-5678
Fax: (516)767-2753
E-mail: PortW.nyukuei@gmail.com
satPW.nyukuei@gmail.com
E-mail: afterPW.nyukuei@gmail.com



平日アフタースクール

特別国語教室、英検対策講座、いろはにほんご教室 (書道、そろばん、朝読書アーツ)

2017年度 募集要項・登録要項 追加募集

部門	学部	学年	定員
ニュージャージー州キャンパス			
全日制デイスクール	幼・小	年少~小学6	26
アフタースクール	幼・小	年少~小学6	10
サタデースクールNJ校	幼・小	年少~小学6	24
	中・高	中1~高6	16
サンデースクール	幼・小	年少~小学6	20
いろはにほんご教室		小学生	各8
マンハッタンキャンパス			
サタデースクールM校	幼・小	年中~中3	18
フレンズアカデミー			
<週日クラス (月~金)>			
全日制たんぽぽ幼稚園	幼児部	年少~年長	15
親子教室 (おおよそ1歳から3歳未満)、幼児教室いちご組 (3歳以上の未就学児)			
<アフタークラス>			
いろはにほんご教室 (日本語基礎教室・国語教室・Japanese Lesson for Adults)、国語算数教室、中学生数学、SAT・大学準備コース、書道教室、音楽教室 (ピアノ/バイオリン/ギター)			
ウィークエンドスクール			
幼児教室I・II、いろはにほんご教室 (日本語教室・国語教室)、国語算数教室、中学生国語、高校生国語			
ポートワシントン校キャンパス			
サタデースクールPW校	幼児部	年中	20
	小中高	小1~高2	22
<アフタースクールPW校>			
平日アフター特別国語教室 (小学1年生~中学3年生) いろはにほんご教室 (土曜日国語クラス、アフター作文教室)			

~NY育英学園NJキャンパス全日制における英語教育~

NY育英学園全日制小学部では、2011年度より英語の授業数を週あたり10コマに増やし、英語やその他の教科や様々な総合学習を英語で行う「金曜一日英語の日」を導入しています。月曜日から木曜日の毎日1コマの英語学習に加え、金曜日は英語科教師が担任として授業もホームルームも全て英語で行うという金曜一日英語集中プログラムの二本立てによる「NY育英クロスメソッド」を確立し、その効果をあげています。このNY育英学園独自のメソッドにより、日本からアメリカに来て、英語をあまり勉強したことがない子どもたちにバイリンガル教育を提供し、現地校にチャレンジできるようにする現地校へのソフトランディングをサポートしたり、現地校生活が長かった子どもたちに英語力を維持しつつも日本語による学習能力を身につけながら日本式の学校生活に慣れることが出来るようにする日本帰国へのソフトランディングも応援しています。

また、全日制幼児部では、早期の英語教育を求める声に応え、母語である日本語を育みながらも、英語により慣れ親しむため、2017年度からは英語の時間を増やすことに決定いたしました。毎日英語の時間を設けると共に、英語でのアートの時間を設けたり、年長と年中は金曜日にそれぞれ90分のバイリンガルの時間を設けるなど、小学校からの金曜一日英語の日の準備過程を設けることで、幼児部のうちから英語での生活にも慣れることをができるようなシステムとなっています。

ウェイティングを受付中の部門・学年もありますので、お申し込み前にはお問い合わせください。

お問い合わせ/事務主任: 園田 雅香

りんごラーニングセンター (フォート・リー/NJ)

- プレイグループ親子教室 (おおよそ1歳から) 親子クラス、親子分離クラス
- きりんのへや こども園 (NJ州認可) 日本語による長時間保育 (2歳半から)
- ホームステイシステム

語学部門

現地校サポートプログラム
各種テスト対策 (英語検定、SAT、PARCC、TOEIC、TOEFL)
ビジネス英語、英会話、書道教室
いろはにほんご教室
E-mail: iroha.nyukuei@gmail.com
サタデー英語補習教室
■ 検定部門 実用英語技能検定
E-mail: eken.nyukuei@gmail.com
漢字能力検定 実用算数技能検定
書写・毛筆書写検定 日本語検定
E-mail: kentei.nyukuei@gmail.com

サマー

きりんのへやサマースクール
りんご英語サマースクール
2450 Lemone Avenue, #103, #104, Fort Lee, NJ 07024
Phone: (201)947-4707
E-mail: Ringo.nyukuei@gmail.com

育英サタデースクール主催
バイリンガル子育て体験 講演会・座談会シリーズ
----- まとめ Q & A 編 on October 25, 2014 -----
Conference between fathers and parents about raising bilingual children
--- Questions & Answers Part 1 ---

Since 2014 IKUEI has been hosting bilingual round table discussions. this is a report of the conclusion with participants.

2014 年度から始まった育英サタデースクール主催のバイリンガル子育て講演会・座談会。お母さん編（日本語）、お父さん編（英語）を報告させて頂きました。今回は第4回目の報告として、質疑応答を含めた座談会の様子その①を報告させて頂きます。話題提供者は引き続き英語が母語のアメリカ生まれのお父さんですので、座談会は英語で行われました。

- <座談会のテーマ>
①「わが家が現地校とサタデースクールの組み合わせを選んだ理由
②「現地校とサタデースクールとの両立のため英語話者の私(父親)が心がけたこと。」

話題提供者
父親1：サタデー中学部にお子様を在籍。奥様は日本語が母語。
父親2：全日制部門小学部を卒業後、サタデースクール中学部にお子様が進学、在籍。奥様は日本語が母語。
父親3：サタデー小学部に2人のお子様を在籍。奥様は日本語と英語のバイリンガル環境で育つ。

- <Round table discussion>
1) The reason why we chose a combination of local school and Japanese Saturday school.
2) How I have supported my children growing up bilingual in local school and Japanese Saturday school.

Our 3 guest speakers:
Father 1: American father and Japanese mother who has their kid in Junior High School of Saturday school.

Father 2: American father and Japanese mother who has their kid in Junior High School of Saturday school. The child graduated from NY Ikuie Elementary Day School.

Father 3: American father and Japanese/English bilingual mother who has two kids in Elementary school of Saturday school.

<司会 Moderator: Mr. Kozuma>
Each father has a different approach on raising a bilingual child. The first speaker's daughter went to Saturday school and American school from the beginning. The second speaker's son came to our Elementary Day school. At 6th grade, he transferred to American school while attending our Saturday school. The third speaker's experience is almost in-between the first two speakers. He sent his daughters to our Day Preschool and then switched to American school while attending our Saturday school. Please exchange your ideas and concerns.

<Questions & Answers>:
< Question 1:>
My daughter goes to Japanese Saturday school and public school during the week. We have similar situations and I'm curious, how can you get more Japanese culture outside of school?

Father 2:
The way we got our son to have a strong Japanese culture is that we put our son in karate school. He's been studying karate for 7 years now. He goes to a hardcore traditional dojo in NYC where the sensei's are all original and came to the city in the 60's. His sensei is and speaks Japanese. They run that dojo like they do the dojos in Japan. Because of karate, he is exposed to Japanese culture, discipline and behavior. Most of the kids go there because it's very traditional, rigorous and a strict school. He also does calligraphy at the Japan Center once a week and does calligraphy style Japanese kanji. If you live in the city or around here, there are tons of Japanese cultural events throughout the year such as matsuris, Japanese festivals, and many traditional Japanese exhibits and Japanese plays. The final thing I want to mention is the NHK television network. My son grew up watching everything from Sazasan, Doraeon, ChibimaruKochan and to now he even watches dramas and news. All of those shows in Japanese growing up really

helped him be more Japanese. Now he watches dramas every day and there's all kinds of great educational programs on NHK. That's just another great way to get tapped in with language ability.

Father 3:
Watching Japanese shows everyday growing up is the way to go. We also go down to Mitsuwa to buy DVDs and mangas. You have to be on the lookout for these things. Our girls like tennis so we've gone to a couple places and we found a Japanese teacher. The class is filled with other Japanese students and we were able to keep them connected to their language and culture organically.

Father 1:
My daughter has a Japanese music teacher and is very fond of Japanese music. She looks on YouTube all day and listens to her Japanese music. She even exchanges music with her friends. Her favorite song is a Japanese song by a Japanese singer. We don't force her or push her, it's just culturally the way she leads in. It's really important to keep both cultures alive through books, physics, food, music, Japanese entertainment, and the NHK network as well. She loves to read Japanese books. I think what's most important is for them to really understand their culture and where they come from.

<Question 2:>
I want to talk about the work load in schools. Japan is notorious for crazy work loads for even younger kids. My wife is from Japan and her nephew just got into college. Every Time I talked to him in the last 6 years, I would ask him "how are you doing?" and all he says is "school...school...school." Even in the Summer! We were wondering what to do for Saturday school and Summers as well. I am concerned about the workload.

Father 3:
I think it's up to the parents and how hard you want to push your kids. We haven't found it to be that intense. Every child is different and one might pick things up quicker than your other one. It depends on you and your child. We live in Tenafly and we've noticed that it has been more of an intense workload but they cover here in one day what they do in a week at her public school but I don't see Japanese being overwhelming. It doesn't have to be. Our approach is don't over stress them with Japanese. We want them to want to keep doing it.

Father 1:
I certainly agree. There is additional work but it's not an overwhelming amount. My daughter is not doing as much work as one of our friends whose son goes to a private school in New Jersey. They say he's up every night up to midnight doing homework. My daughter doesn't study that way and gets great grades.

Father 2:
It has a lot to do with the school atmosphere. In Japan, the focus is education and it is intense. I think it's ludicrous where America is going with education and where it's been. The school we put our son in now is very progressive. They almost don't give homework. They just started giving him homework in 7th and 8th grade. There wasn't even grades in the beginning and I know a lot of parents are uncomfortable with that. It's like everyone seems to be marching to standardized tests and lots of homework. A big part is your philosophy as a parent. I went to an ivy league school and I did all that as a kid. It didn't help or hurt me. I just don't want to enforce that to my kid. I think he'll learn what he needs to learn, get into a good college and be successful. I regret seeing and watching the pressure of kids in the city who look so stressed and zombie like. I think personally by the they hit high school, these kids are so burnt out. They basically sacrificed their childhood. You don't want to over do it. They'll be 19 and feel like they are 55.

< Question 3:>次回に続く
<今回は座談会の質疑応答その2をお伝えします。その後、卒業生から後輩に向けての座談会を計画しています。>Contact:JCS Saturday School NJ Director/Masahiro Kozuma 土妻雅浩

育英ダブルダッチチーム

世界大会上位入賞

2016年12月4日に、フランス、日本など世界各国の代表が集うダブルダッチの国際大会「National Double Dutch Holiday Classic 2016」がアガロシターで開催され、今年で9年連続出場となる育英ダブルダッチチームが上位入賞を果たしました。



お問い合わせ/ダブルダッチクラブ担当: 笠間 将平

主な競技部門は、跳んだ回数を競う「シングルス」、「ダブルス」のスピード部門、音楽に合わせてフリースタイルの演技を披露しながら技術や表現力を競う「FUSION」部門。

スピード部門では「SAMURAI」が出場し、学年別「シングルス」「ダブルス」部門で3位入賞を果たしました。

今年度は他にも、6月に行われたサウスカロライナで行われた国際大会でも優勝するなど1年を通して輝かしい成績を残しました。



～大会の主な成績～

National Double Dutch Holiday Classic 2016
☆スピード
シングルス(6年生部門) SAMURAI 3位

American Double Dutch League 2016
☆スピード
シングルス(6年生部門) GAMBA 優勝
ダブルス(6年生部門) GAMBA 準優勝



ねんど 2017年度 NY 育英学園 各種検定スケジュール

かくしゅけんてい



ニューヨーク育英学園では、実用英語検定の試験実施運営に加え、漢字検定、書写検定、数学検定、日本語検定を実施しています。これらの検定を取得していると、推薦入試時に内申点が加算されたり、優遇されたりといったメリットがあります。
さあ、2017年度もNY育英学園の検定に挑戦して、ステップアップしましょう。

- * 申込書は学園のホームページからダウンロードできます。プリントアウトしてお申し込みください。(学園HP各種検定ページ <http://japaneseschool.org/proficiency/>)
- * 検定の過去問題や練習問題を掲載した検定日より毎月1回発行しております。ぜひお子様と一緒に検定問題に挑戦してみてください。



お問い合わせ/各種検定担当: 舛田 和美

実用英語検定試験		英検		模擬試験(1次のみ)	
第1回	1次	6月3日(土)	5月24日(水)	5月20日(土), 27日(土)	
	2次	7月2日(日)	5月28日(日)		
第2回	1次	10月7日(土)	9月27日(水)	9月23日(土), 30日(土)	
	2次	11月5日(日)	9月24日(日), 10月1日(土)	2018年1月10日(水)	
第3回	1次	2018年1月20日(土)	2018年1月6日(土), 13日(日)	2018年1月7日(日), 14日(日)	
	2次	2018年2月18日(日)			

漢字検定		模擬試験		満点で合格すると「満点賞」という賞状が発行されます。家族で同じ検定日に受験して合格すると「家族合格表賞状」も発行されます。	
第1回	6月3日(土)	5月27日(土)			
第2回	10月28日(土)	10月21日(土)			
第3回	2018年1月27日(土)	2018年1月13日(土)			

10月29日実施の第2回検定では、数学検定を英語で受けることができます。		実用数学技能検定		数学検定	
第1回	検定日	6月25日(日)	6月10日(土)		
	検定日	10月29日(日)	10月21日(土)		
	検定日	2018年1月28日(日)	2018年1月13日(土)		

書写検定		模擬試験		全級をNJキャンパスとブルックリンアカデミーで実施いたします。M校では硬筆3,4,5級を、PW校では硬筆3,4,5級と毛筆5級を実施します。	
第1回	検定日	6月17日(土)	6月10日(土)		
	検定日	11月11日(土)	11月4日(土)		
	検定日	2018年1月27日(土)	2018年1月20日(土)		

日本語検定		模擬試験		日本語検定	
第1回	検定日	6月11日(日)	いろいろにはほんご教室でも、日本語検定対策が可能です。		
	検定日	11月12日(日)			

国連平和の鐘 ～世界絶対平和萬歳～



春分の日、9月の国連総会の開催時、9月21日に行われる世界平和デーの式典で毎年必ず平和の鐘が打ち鳴らされます。ニューヨーク国連本部にある「日本の平和の鐘」は、1954年6月に日本国連協会から国連本部に寄贈されました。

平和の鐘

平和の鐘は、1951年、第6回国連総会に出席した日本国連協会理事で、元愛媛県宇和島市長の中川千代治氏が、「国を越え宗教の違いを越えて、平和を願う世界の人々のコインを入れた平和の鐘を造りたい」と、当時の国連加盟国に訴え、国連事務次長ベンジャミン・コーヘン氏の協力を得、趣旨に賛同した65カ国の代表者からのコインとローマ法王ピオ12世から頂いた金貨9枚を入れて、高松市の多田鋳造所の協力で造られました。鐘には「世界絶対平和萬歳」と刻まれ、楯本の当たった所は平和を意味する月桂樹が描かれています。また鐘棟は釈尊誕生の花御堂を象ったもので、宇和島市の宮大工の天下林平氏が制作するなど、賛同する多くの方々との協力を得て誕生、寄贈されたものです。

講演会

2016年は、国連創設70周年、日本の国連加盟60周年の年でした。その節目の年に、平和の鐘を寄贈した故中川千代治さんの六女であり、国連平和の鐘を守る会代表の高瀬聖子さんが来賓し、6月20日に、本学園全日制で講演会が行われました。

高瀬さんの父である故中川千代治さんが、自らの戦争体験から、戦争がない平和な世界を願って、武器や世界のコインから鐘を作り、国際連合に寄贈しました。宗教や主義主張の違いを乗り越えたところに平和があると語られていました。「コインでつなぐ平和の鐘 The Story of the UN Peace Bell」～ニューヨーク

お問い合わせ/全日制教頭: 大村 功

ヨーク国連本部に鐘を贈った日本人の物語～という本も出版され、イラストを担当した相澤つづさんの指導の下、コラージュを通して子ども達一人ひとりが平和を表しました。高瀬さんは、今回のニューヨークを皮切りに、世界を回って平和の鐘について語っていく予定です。世界がつながり平和がもたらされるという目的で、コラージュを作り、それらをつなげて本にしていくということでした。

今回の講演会とコラージュ作りを通して、5年生ブレイク陸奈さんは「1年生の時に戦争の話聞いて、戦争は大嫌いだと思ってきた。今日の高瀬さんの話を聞いて、大人になった。世界の平和のための活動のお手伝いをしたいと思うようになった。」と話していました。講演会を通して、子ども達は、世界平和実現のために活躍した日本人の存在と現在あるこの平和の尊さを深く実感したようでした。

記念式典

9月16日には、マンハッタンにある国際連合本部で行われた、国連平和の鐘記念式典に参加しました。

日本の梵鐘「平和の鐘」の響く国連の庭からの中継の後、潘基文国連事務総長の挨拶、ステュービー・ワンダー、レオナルド・ディカプリオ、ノーベル平和賞受賞者、玉嶋みどりさんのバイオリン演奏などの平和への思いに満ちたメッセージを演説しました。世界の代表者が集い、世界平和について話し合う総会議場で、

多くの著名人からの平和への熱い思いに、子ども達は胸を打たれたようでした。

引き続き行われた学生会議では、ニューヨークエリアの高校生が参加して、これからの世界を担う若い世代が、平和について話し合いました。

午後には、国連本部ブックストアに場所を移して、著者である高瀬さんを迎えて「コインでつなぐ平和の鐘 The Story of the UN Peace Bell」の出版記念会が行われました。その高瀬さんが日本語の部分で、本学園代表児童の全日制5年生石ケ原ジュリアン君と同6年生植田拓実君、リセケネディ日本人学校の中学生の両立に励む子ども達と、それを支える保護者の皆さんの努力を見るにつけ、子ども達にも保護者の皆さんにも尊敬の念を持つようになりました。

代表して朗読をした石ケ原ジュリアン君は、夏休みにお母さんの故郷である広島市を訪れていました。「広島では、第二次世界大戦での原爆のことを学び、平和への思いを強く感じるようになりました。今日、ここでこの本を読む機会を与えていただき光栄です。」と最後に皆の前でコメントを述べました。

本学園全日制の子ども達は、学習の一環として毎年国際連合本部の見学を行っています。昨年には、平和の鐘を実際に見学しており、講演会と記念式典参加を通して、子ども達は、世界平和実現のために自分たちができることは何かを考え、その第一歩を踏み出す機会となったようです。

* 一般社団法人 国連平和の鐘を守る会 <http://peace-bell.com/>

2016年度 NY 育英学園 主催 スキー日帰り教室&宿泊キャンプ

毎年好評をいただいています NY 育英学園主催のスキー教室&キャンプです。学園の職員を中心とした、スキー指導経験豊富なスタッフを揃え、日本語でのきめ細かいスキー指導を実践しております。その他、育英スキーレンタル、ポートワシントン地区・マンハッタン地区からのシャトルバスのサービス等を行っています。スキーレンタルは、シーズンレンタル、1日レンタル、など様々なコースをご用意しています。スキー教室当日の朝にお渡しして、スキー

終了後返却となりますので、家からスキー用具を運ぶ煩わしさがありません。宿泊キャンプでは、食事は職員による手作りの温かく、栄養溢れる家庭料理を提供しています。アレルギーのある子どもにも個別に対応しています。また、スキー終了後は、レクリエーション、スノーシュービングなどを楽しむ時間もご用意しています。スキー講習会は適宜行い、ただ滑るだけではなく、イメージをもって滑ることを大切にしています。



PW, マンハッタンからの学園スクールバスによる送迎あり! (オプションとして)

申込用紙は学園 HP でダウンロード可能 www.japaneseschool.org

2月宿泊キャンプのお申し込み好評受付中!
2月20日(月)~23日(木)

お問い合わせ/スキー担当: 角 明江

2月の宿泊キャンプについてのお問い合わせは、学園事務局まで。

細くても長く歩ける日本語の道 ～私の教師人生を変えたフレンズアカデミー～

ニューヨーク育英学園に勤めて12年が終わろうとしています。この間、ポートワシントン校を皮切りに、全日制小学部、サンデースクール、フレンズアカデミーで働いてきました。

日本での経験を生かして小学部の担任を務めた5年間は無我夢中でした。中でも学園祭の劇の取り組みは今でも心に強く残っていて、劇の一コマコマが、子どもたちの一生懸命な表情とともに思い浮かぶことができます。その後、サンデースクールの立ち上げに携わる機会に恵まれました。たった2クラスからのスタートでした。最初の卒業生を送り出すまでの6年間、英語と日本語の両立、学習と運動や音楽との両立に励む子ども達と、それを支える保護者の皆さんの努力を見るにつけ、子ども達にも保護者の皆さんにも尊敬の念を持つようになりました。

私の教師生活の変換点となったのがフレンズアカデミーへの転勤です。フレンズアカデミーでの言語指導は、新しい経験の連続でした。質問を理解させるのに別の言葉で何度か言い換えたり、英語を話すときにはそのたびに

「それはこう表現するんだよ」と伝えたり、疲れて学習に集中できない子を激励したりと、息のつく暇もありませんでした。そんな子ども達が笑いついてくる物語はないか、詩はないか、映像作品はないか、漢字をどう取り組ませようか、カタカナ定着のためにどんなプリントを作ろうか、と必死で教材研究に取り組みが続きました。そして、怒ったり泣いたり笑ったりしながら子ども達と距離を縮めていくうちに、大きなやり甲斐を感じるようになりました。しかし、苦しい思いをさせてしまった子ども達を思い出すにつけ、力の足りなかった自分を反省し、申し訳ない気持ちでいっぱいになります。

3年前からは、フレンズアカデミーウィークエンドスクールの土日の仕事をするようになりました。1年半前には、フレンズアカデミーはアッパーウェストに移転し、全日制たんぼ幼稚園の発足、一日お預かりできるようになった幼児教室の発足、国語算数クラスの新設など、大きく発展してきました。その中でフレンズアカデミーが創設されてから今

記: フレンズアカデミーウィークエンドディレクター/小松 奈緒美

～先輩から一言～ 森山 京香さん



2003. 1. 4生まれ
2012. 5月 NY 育英学園転入
卒業後現職地へ(66から86まで)
キチンと中学校在学中
ダブルタッチチームで活躍!
現職地ではコーラス部で活躍!
自分から進んでお友達を作るのが得意
歌うことが大好きな中二女子

私は小学四年生の時に、日本からニューヨーク育英学園に転校しました。そこから卒業するまで育英学園に通い、卒業してからは現地の中学校に通っています。友達もたくさんできて、毎日とても楽しい学校生活を送っています。

まだ私がアメリカに来たばかりの頃、私は英語が嫌でした。将来日本で暮らしてゆくの、こんな意味も分からぬ言葉を学ばなければいけないと思うと、とても気が遠くなりました。それでも、とにかくがんばろうと英語の勉強には手を抜きませんでした。当時は英語で一番下のクラスだったので、とても大変な思いをしました。それでも、他の子達に追いつきたくて、あきらめずにたくさん勉強しました。

一番下のビギナークラスでは、英語を基礎から学びました。アルファベット一つ一つの発音や、文の構成などいろいろありました。今思えば、この時学んだ基礎こそが、今の自分の英語力を大きく支えてくれているのではないかと思います。

毎週金曜日にある一日英語の日では、休み時間以外、日本語を話してはいけませんでしたが。英語でコミュニケーションをとるのはとても難しく、私にとってハードルの高いことでしたが、毎週やることで慣れてゆき、現地の人達との接し方や英語と日本語の頭をすばやく切り替えることが自然と身に付きました。

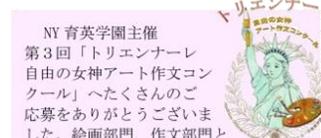
そのおかげで現地校にはすぐに馴染むことができました。勉強はとても難しかったのですが、友達に聞いたり学校に残って先生と宿題をしたりしました。今でも新しく学ぶことはたくさんあって、毎日英語を深く理解しているのではないかと思います。今思い返すと、育英学園で学んだ英語は「基本」で、現地校で学んでいるのはその「応用」なのではないかと思えます。スポーツと同じで基本はとても大切で、基本がないと次の応用という道には進めない。私はそう思います。私は知らないうちに育英学園で英語の基礎を学ぶという習慣をつけ、それも応用し結びつける準備をしていたのです。あまりにも自然に身に付いていたので、このことに気付くのにとても時間がかかりました。

今はこの基本を活かして勉強をしたり、友達と接したりしています。時には通訳として活躍したりもします。でもまだまだ私の英語は未熟で知らないことばかりです。もっともっと英語のことを知って、将来日本と世界をつなぐ掛け橋になりたいと思います。



職員ハンズフリー

日まで、少しずつ形をかえながらも脈々と続いていくのが、現地の学校に通いながら日本語や国語を学び続けるクラスです。子ども達を直接教えることは少なくなりましたが、今、若い先生達といっしょにフレンズアカデミーの日本語指導、国語指導のあり方を見直し、再構築しようとしています。子どもたちが日本語をますます好きになり現地の学校が忙しくても日本語をやめずに勉強し続けられるようなプログラムを作ること、子ども達と保護者の皆さんを励まし力づけられる教師集団となることを目標に、これからも力を尽くしていきたいと思っています。



NY 育英学園主催
第3回「トリエンナーレ
自由の女神アート作文コン
クール」へたくさんのご
応募をありがとうございます
。絵画部門、作文部門と
もに審査が終了し、受賞者の皆様へはお
知らせをさせていただきます。なお、
今後の予定は以下の通りです。

- (入賞者の発表)
2017年3月1日
当学園のホームページ上にて
- (表彰式)
2017年3月19日(日曜日)
NY日系人ギャラリーにて
- (展示会)
①NY日系人ギャラリー(2017年
3月19日～2017年3月24日)
②在NY日本総領事館広報センターギ
ャラリー(2017年4月4日～201
7年4月29日)



お問い合わせ/企画担当: 牧野 佳代子



奨学金基金&寄付金

企業の皆様

ANDO CHIROPRACTIC, LLC
DAIEI TRADING CO., INC.
AMNET NEW YORK, INC.
AMAZON.COM, INC.
BOX TOP



奨学金基金&寄付金

個人の皆様

MR. KADDOURA, FADI & MS. KADDOURA, YAEKO
ANONYMOUS
MR. LAMPE, JORDAN & MS. ODA, YOSHIE
MS. HIRAYAMA, MICHIKO
MS. HOSONO, MISHI
MR. MORIMOTO, TARO
MR. HIRABAYASHI, MASAYOSHI
MR. OKAMOTO, TORU
MR. STRAUS, WILLIAM
MR. YOSHIDA, REIZO
MS. ABE, MAI
MS. ITO, KAE
MS. LANDAU, HITOMI & MR. LANDAU, RICHARD
MR. SATO, KEITA & MS. SATO MARIE
MR. TAKATSUKA, TOSHIHARU
MS. YAMADA, KATSUKO

10/15/2016~1/5/2017



~皆様のご支援に
心より感謝申し上げます~

全てのご寄付は米国の
税控除の対象となります。
All contribution is tax deductible.
501(c)(3)organization

本学園ホームページ
JAPANESECHOOL.ORG から
PayPal をご利用できます。

学園グッズ&カレンダー

MR. HASAGAWA, GO
MS. HASHIMOTO, KANAKO
MS. HSIGH, SUDEE
MR. KANO, KENJI
MR. KOMODA, SOJI
MR. KOZUMA, MASAHIRO
MR. MATSUI, AKIO
MR. NOSAKA, SHUJI
MR. QUAYLE, MATTHEW



九州大震災 (熊本大分地方を中心とした大震災)
において被災した子ども達への教育支援基金へのご協力のお礼とご報告

総額 \$3,772.77 (訂正前\$3,742.77) as of 6/30/2016

皆様の温かいご支援をありがとうございました。
2016年度フレンドシップ秋号に記載金額を間違えて掲
載致しましたことをお詫言するとともに、ここに訂正
させていただきます。また、寄付送付先のあしなが育英会
熊本本部より、ご寄付のお礼状を頂いておりますの
で、掲載させていただきます。今後ともどうぞよろしく
お願い致します。

お問い合わせ/ファンドレイジング担当: 半場 綾子
会計担当: アクセルソン 睦子



~今号の目次~

- P.1 ポートワシントン サタデースクール & アフタースクールからのお知らせ
- P.2 N] キャンパス全日制部門からのお知らせ
- P.3 全日制英語科からのお知らせ
- P.4-5 サマー2017のお知らせ
- P.6 JCSのご案内
- P.7 2017年度NY育英学園全部門募集要項・登録要項発表表 (追加募集)
- P.8 シリーズ「教育座談会」(Q&A編)
- P.9
 - ダブルダッチクラブのお知らせ
 - 2017年度各種検定スケジュールのお知らせ
- P.10 関連「平和の鐘記念式典」報告
 - 2016年度スキー教室・スキーキャンプのお知らせ
- P.11
 - NY育英学園職員ペンリレーシリーズ「先輩から一言」
 - NY育英学園主催第3回トリエナーレ自由の女神アート作文コンクールからのお知らせ
- P.12
 - NY育英学園ファンドレイジング報告
 - 4コマ漫画 (作: コマタキレコ)
 - 学園長よりご挨拶

~学園長より~

本学園は海外の私立日本人学校として、当地の子ども達の為にいかに活動すべきかを模索して参りました。故丹羽美代子前園長は、全日制の幼児部の設立を目標にして、志半ばにして亡くなりました。バトンを引き継いだ私としましては、幼小一貫教育を旗印に30年間ゴールのないレースを走っています。保護者の方々からの感想、理事・アドバイザーからの助言等により、職員一同は少しでも子ども達に良い環境、良い教育をと思



(右絵) 2016年度
全日制小学部第5学年
岸田 時尚

ニューヨーク育英学園学園長

岡本 徹

い、日々頭を寄せ合い知恵を絞っています。この小冊子をご覧になったうえでのご意見を何なりとお寄せ下さい。又、授業料のみで運営していますので、経済的には苦しい状態が続いています。どこかのファンド、個人で援助いただけるところがあれば是非教えていただきたいと思っています。私はいつでもどこでも説明に伺いますので、よろしくお願い致します。

学園はこれまでも様々な試練を乗り越えて参りました。山あり谷あり嵐ありの37年間でありました。1日1日の大波小波を乗り越切り、これからも当地の子ども達のニーズに合わせたプログラムを提供していきたいと思っています。

NY学園物語

「日本の心を学園で学ぼう!」

"Let's Learn about the Heart and Soul of Japan at Our School!"



① Happy New Year, Taro!
② Grandma, it's still New Year's Eve here in the U.S.



③ Oh, I see. There is a time difference between Japan and America. I'm worried that you might lose Japanese heart and soul.
④ Don't worry!



⑤ Our school events in January include..
⑥ New Year's Calligraphy and
⑦ Pounding Mochi.



⑧ 2月は
⑨ 豆まき
⑩ 日本の心を忘れる暇ないよ!

⑪ In February, we have..
⑫ A Bean Throwing Festival.
⑬ I'm too busy to forget the heart and soul of Japan!

BY コマタキレコ (KIREKOKOMATA)